

1 単元名 れいの書かれ方に気を付けて読み、それをいかして書こう

「すがたをかえる大豆／食べ物のひみつを教えます」

2 指導観

- 本学級の児童は、これまで、第2学年において「馬のおもちの作り方」を通して、順序を捉えたり、文章と写真を対応させたりして読むことができる。また、順序が分かるように、おもちの作り方を説明する文章も書くことができる。また、第3学年において「言葉であそぼう／こまを楽しむ」を通して、段落とその中心を捉えて読むことができる。しかし、これらの学習を通して説明文を読むことには慣れてきているが、読み取ったことをもとに自分の考えを持ち、それを支える理由や事例を明確にすることに苦手意識を持っている子どもも多く見られる。また、自分の考えに固執し、自分の考えを付加・修正することに抵抗をもつ子もいる。そこで、段落相互の関係に着目し、それを支える理由や事例との関係などについて捉え、説明文の書き方の工夫に気付き、食べ物に関する説明文を書き、推敲し合う活動を行うことができる本教材をこの期に行うことは大変意義深い。
- 本教材「すがたをかえる大豆」は、題材が身近な大豆という食品であり親しみやすい。また、「初め」「中」「終わり」に分けることができ、「中」には事例が列挙される文章組み立てとなっている。また、写真資料などが効果的に使われている。さらに、「次に」「さらに」といった接続語を用いることで事例が順序立てて整理されている。本教材は、このような説明文の工夫を見つけることに適している。また、「食べ物のひみつを教えます」では読み手にとって分かりやすい文章を書くことを意識し、教材や作例の文章を手掛かりに、説明のしかたの工夫を確認し食材について説明する文章を書く。子ども自ら推敲し交流することにも適している。またこのことは、第4学年におけるまとめりに中心となる語や文を確かめ、要約する「正解にほこる和紙」や理由や事例を挙げて考えを伝える「伝統工芸よさ伝えよう」の学習へとつながっていく。
- 指導にあたっては、自分の考えとそれを支える理由や事との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができるようにする。また、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えることができるようにする。さらに、幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができるようにする。これらを通して、以下の情報活用能力を向上できるようにする。

- ・ A-2-①c ステップ1 「共通と相違、順序などの情報と情報との関係」
- e ステップ1 「簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法」
- ・ B-1- ステップ1 「情報の大体を捉え、分類・整理し、自分の言葉でまとめる」
- ・ C-1-①a ステップ2 「情報同士のつながりを見つけようとする」

特に本時では、説明する文章の「はじめ」「中」「終わり」に書く内容を考え、組み立てメモを作ることができるようにするとともに、それを通して次の情報活用能力を向上できるようにする。

- ・ A-2-①c ステップ1 「共通と相違、順序など情報と情報との関係」
- ・ B-1 ステップ1 「情報の大体を捉え、分類・整理し、自分の言葉でまとめる」

そのために、しらべる段階で「すがたをかえる大豆」の文章を振り返り、組み立てを考えることを確認し本時のめあてをつかませる。くらべてまとめる段階では、前時までに作成したすがたをかえる食品について調べたことをまとめたシンキングツールや表をもとに、組み立てメモを作成する。また、作成したメモを友だちと共に国分さんの工夫を使うことができているか検討する。伝える段階では、組み立てについて学んだことを自分の言葉でまとめ本時の学習で分かったことやできるようになったことを書く。

3 単元の目標

- 比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。
幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
【知識・技能】
- 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述をもとに捉えている。
- 積極的に説明される内容とそれを支える事例との関係などについて叙述をもとに捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって文章の説明の工夫を見つけてそれを生かして書こうとしている。
【思考力・判断力・表現力】

【学びに向かう力】

4 単元計画(全15時間) 本時 (11/15)




- 1 題名や本文の内容をもとに問いの文を考え、文章の構成について理解することができる。——②
- 2 段落相互の関係に着目ながら、叙述をもとに内容を捉え文章構成の工夫に気付くことができる——⑥
- 3 すがたをかえる食品について調べ、調べたことを工夫して説明文を書くことができる——⑧

5 本時 令和5年11月〇〇日(〇) 第5校時 第3学年〇組 教室において

6 主眼

- 説明する文章の「はじめ」「中」「終わり」に書く内容を考え、事例の順序に気を付けて、組み立てメモの組み立てを工夫し、放送原稿を書く見通しをもつことができる。

7 本時の展開

	主な学習活動	具体的な支援と評価(◆評価)
調べる	<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>○「すがたをかえる大豆」の文章を振り返り、「はじめ」「中」「終わり」の組み立てや前時の振り返りを確認し本時のめあてをつかむ。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>味チューバーになるために、中のじゅんじょに気を付けて組み立てメモを作ろう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><単元のめあて・パフォーマンス課題の設定> 学校みんなが食べ物を大好きになるように、食べ物のひみつについて調べ、味チューバーになって学校みんなに知らせよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【自力解決に導く手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに「すがたをかえる大豆」の組み立てをまとめた表を提示する。 →「すがたをかえる大豆」の組み立てを振り返るために、前時までにまとめた表を提示する。 </div> <p>○本時の見通しをもたせるために、前時の学習内容や学び方を振り返る。</p>
比べてまとめる	<p>2 前時までに調べたことをまとめたシンキングツールや表を、内容のまとまりに分けた組み立てメモに作りかえる。</p> <p>(1) ウェビングや表を使って調べたことを取り出し、組み立てメモを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」は、これから説明することを大まかに説明するよ。 ・「中」には具体的な例をあげて説明するよ。 ・「終わり」はまとめや自分の意見を書くよ ・「中」は、工夫の後に例が書かれていたよ。 <p>(2) 「中」の事例の順番について友だちと意見を交換し事例の順番を見直す。</p> <p>○みんなが食べてみたいと思う工夫はできているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯の次は粉に引くくふうをする白玉がいいと思う ・もちのところは、きなこや砂糖醤油なども入れると食べてみたいと思う人が多いと思うよ。 <p>(3) 原稿を書くことへの見通しを持つために、組み立てメモに音声を録音し、味チューブのリハーサルを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組み立てメモを作ることができたけど、味チューバーになるためには、放送原稿を書く必要がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>みんながもっと食べたくなるように、中のじゅんじょを工夫するとよりよい味チューブができそうだ。 次は、味チューバーメモを書いてみよう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【自力解決に導く手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンキングツールからカードを取り出し構成を工夫した組み立てメモを作る。 →調べたことをまとめたウェビングやダイヤモンドランキングなどのシンキングツールからカードを取り出し、組み立てメモを作成する。  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【考えの見直しに導く手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えの見直しや、次時の見通しをもつための音声入力 →組み立てメモを作るだけでなく、放送原稿を書くことが必要であることを実感させるために、組み立てメモに音声を録音する。  </div> <p>※事例の順番に気を付けて組み立てメモを書き、次時も見通しを持つことができる。</p>
伝える	<p>3 学習のまとめを書き、振り返りを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の振り返り ○学び方の振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちから意見をもらって事例の順番を見直すことができた。 ・友だちに事例の順番についてアドバイスすることができた。 ・組み立てメモを使って味チューバーメモを書きたい。 ・味チューバーになるために放送原稿を描きたい。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【振り返りの手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォームズを用いた振り返り →学習内容や自己の学び方を振り返り次の学習の見通しをもつために、フォームズで作成したアンケートを解答し、テキストマイニングした結果を見て全体で振り返る。 </div>

はじめ

① かくされた問いのせつめい。
 ② では、どのように昔からおいしく食べるくふうをしてきたのでしょうか。

中

③ いちばん分りやすいのは、たり、にたりしてやわらかくおいしくするくふう。
 ④ 次に、こなにひいて食べるくふう。
 ⑤ また、大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう。
 ⑥ さらに、目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にするくふう。
 ⑦ これらの他に、とり入れる時期や育て方のくふう。
 ⑧ このように↓

終わり

国分さんのメッセージ

作り方がむずかしい ← 作り方がかんたん

